

# かみかわ町議会だより



## 中新里「世代間交流BBQ大会」

(撮影者「フォーカス友の会」 舟山カウ子さん  
山口 光江さん)

大字中新里では、子ども会育成会や老人会及び大字の皆さんが中心となり、毎年8月上旬に集落センターにて世代間交流BBQ大会を行っています。子どもたちは夏休みのひとときをおじいちゃん、おばあちゃんそしてお父さん、お母さんと楽しそうに過ごしていました。

### <主な内容>

#### 第3回定例会

■平成27年度神川町一般会計補正予算(第1号)などの補正予算を可決

■神川町土砂のたい積の規制に関する条例などを可決

#### 第4回臨時会

■農業委員会委員4人を推薦

第 **39** 号

平成27年9月1日発行

### 議会を傍聴しませんか

第6回定例会は9月8日(火) [午前9時~] 一般質問等から16日(水)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会  
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909

☎0495(77)0707

<http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

# 定例会のあらまし

平成27年第3回神川町議会定例会は6月9日から17日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成27年度神川町一般会計補正予算（第1号）ほか5議案、報告1件及び請願2件、陳情4件が審議されました。

## 町政に対する一般質問

一般質問は、6月9日に行われ、5名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は次のとおりです。



廣川 学 議員

### 神川町の人口減少問題について

「重点施策を決め、危機感をもって進めてほしい」

人口減少は、経済、社会の活力をそぎ、社会保障制度の安定を損ないます。町では総合計画に基づき、町独自の人口減少対策を実施していると思われませんが、町民の皆さんに伝わりにくいので、わかりやす

い周知をお願いします。また、ここ数年、観光事業に力を入れていますが、働く場を増やし定住に繋げることも重要と思います。何を重点課題と捉えているのか伺います。

人口減少対策のひとつは、結婚をして子どもを育てることです。昨年度の結婚相談の状況や成果について、また、課を超えての婚活対策等について伺います。

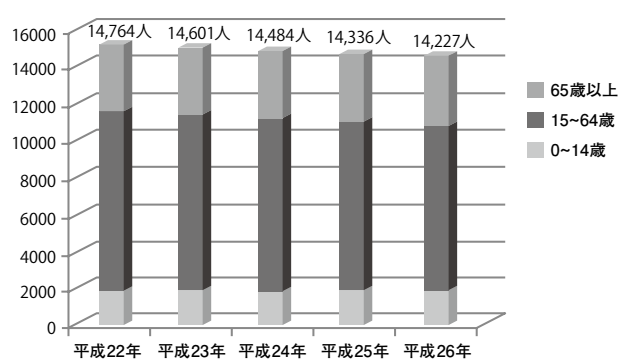
他の自治体では、課を超えた人口減少対策プロジェクト会議を立ち上げ、将来に向けた施策の提言を行っています。消滅可能都市としないよう、未来の神川町に向けた具体的施策について伺います。

## 答え 町長

「審議会や皆様のご意見をお聞きしながら進めます」

国は平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法を公布し、平成27年度中に市町村ごとに「地方総合戦略」を策定することを努力義務としました。当町では課長級職員を委員とした総合戦略推進本部を立ち上げ、また、全ての職員から人口減少抑制策や地域の活性化策について施策案を募集し、近く素案を策定します。また、総合計画審議会において多方面から議論をし、効果ある事業を選択する予定です。

結婚相談所は毎月1回、総合福祉センター内において、4名の相



神川町人口の推移（各年4月1日）  
 「神川町子ども・子育て支援事業計画より」

談員が助言、支援を行っています。昨年度実績は、男性4名、女性1名の登録で、来所1件、資料交換2件、うち1件はお見合いをしています。婚活イベントは他社協との共催により2月に実施し、男女



12人が参加し、うち男女各1名が神川町社協の受付となっております。未来の神川町についての施策は、今年度策定する5カ年計画の「地方総合戦略」と平成30年から次の10年を見据えた「次期総合計画」



### 落合周一 議員

の中でも、人口減少問題を重要な課題として位置づけ、町民皆様のご意見をお聞きしながら、出産、子育て、そして安心した老後生活が楽しめるような、小さくても輝けるまちづくりに努めます。

## 神川町の活性化について

「マスコットキャラクターをもっと活用し、町のPRを」

スポーツ少年団や中学部活のユニフォーム、体育着、生涯学習サークルの皆さんのTシャツ等にキャラクターをデザインし、町を宣伝することに伺います。

5月に飛び出し注意看板「とびた君」発祥の地、滋賀県東近江市の社会福祉協議会を訪問し、設置方法等について聞いたところ、設置は各自治会が必要と思われる場所を選んで設置しているとのことでした。町も、役場の担当課でなく、行政区の区長や交通安全協会役員など、地域の危険な場所をよく知っている人に設置をお願いし、設置箇所数をもっと増やし、西のとび太君、東のなっちゃんと呼ばれるように充実すべきと考えますが伺います。

### 答え 町長

「今後もPRに努め、飛び出し注意看板の増設は検討します」

マスコットが誕生し、4年経ちますが、イベントへの着ぐるみの出演や貸出、ポロシャツ、缶バッジ、ボールペン等の作成販売、ラインスタンプの作製等により、町のPRに努めてきました。今後も、より多くの方々が積極的に活用できるように、ホームページや広報紙を通じ呼びかけます。

飛び出し注意看板は現在50カ所設置してありますが、今後は増や

## 町の教育施設の改善について

「小学校体育館の床修繕と中学校体育館整備について」

丹荘及び青柳小学校体育館の床は塗料が剥がれ、むき出しになっている所が多く見受けられます。塗料の剥がれは、床材料に傷ができるだけでなく、ささくれにより思わぬけがをすることもあります。早期の補修が必要と思いますが、教育長の考えを伺います。また、中学校体育館のバスケットコートはコートと壁の間隔が1メートルしかなく、危険です。ゴール近くの壁に激突しても、安全のためにマットのようなものを設置すべきと思います。また、つり下げ式のバスケットゴールが設置できなかった理由について伺います。



神川町マスコットキャラクター「神じい」「なっちゃん」

していきたいと思います。設置場所等につきましては、PTA、区長さんに設置をお願いする予定です。各種団体ごとのデザインやステッカーは、マスコットキャラクターのデザインがなるべく入手しやすいようにします。

答え 教育長

「各学校と協議し、適切な管理に努めます」

各小学校体育館の床につきましては、定期的な保守管理により安全性の確保に努めています。今後各学校と協議しながら、施設の適切な管理を進めます。

中学校体育館のつりおろし型バスケットゴールの設置につきましては、建設当時は検討されていましたが、面積や近隣の体育施設との状況を踏まえ、練習用のバスケットゴールを複数設置すること

になりました。以上のことから、現段階での設置は検討していません。



神川中学校体育館

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画について



柴崎 愛子 議員

「高齢者福祉施策及び介護保険料の

算定基準額の決め方について」

町では高齢者の人口増や一人暮らし、夫婦のみ世帯の増加にあわ

答え 町長

「介護保険法の改正にあわせ、新たな事業展開をします」

平成26年の介護保険法の改正により、高齢者福祉施策は平成27年度より大きく見直されました。高齢者の方に対し、住み慣れた地域で医療や介護、生活支援等のサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムを構築し、地域の実情に応じた介護予防の新たな事業展開が求められています。包括支援事業は今年4月から、総合事業は来年4月から開始します。現在、実施可能な事業から進めており、新たな通所型サービスの担い手と

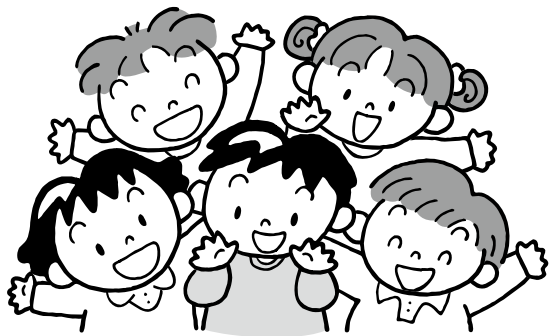
せ、介護保険の利用者が着実に増えていきます。このような状況の中で、町の健康長寿対策の内容、利用度合い、普及率について伺います。  
平成28年度新規事業の、介護予防・生活支援サービス事業、住宅・医療・介護連携推進事業、認知症施策推進事業、地域リハビリテーション活動支援事業等について伺います。  
また、介護保険料基準額の決め方及び介護保険料を使わなかった人に対する健康長寿祝いについても伺います。



包括支援センター「介護予防事業」

なる個人や団体の調査を開始しました。介護支援ボランティア制度、認知症対策は、今年4月からボランティア登録を始め、既に活動しています。

介護保険料の算定基準額は、市町村ごとの介護サービス費等の推



計に基づき、被保険者やサービス提供事業者の代表、広域代表など

で構成された介護保険運営協議会の意見を反映し決定します。

### 認定こども園について

「保護者にもっと周知すべき」

町では、5月1日に子ども・子育て会議で保護者や議会に十分な説明がない内に、認定こども園の詳細説明がありました。その後12日にとつたアンケートでは、賛成69、反対38、わからないが153件あり、不安を訴えた意見も多くありました。町政は議会制民主主義であり、よりよい園を作るためには保護者との十分な話し合いが必要と思いますが、町の考えを伺います。

### 答え 町長

「説明会を開催し、理解を深めていただくよう努力します」

町では、保育施設の老朽化や利用者増により、現在の保育所での保育が困難となり、保育所及び幼稚園の関係職員が中心となった保育連絡協議会で視察や検討を重ね、認定こども園の設置が適切であるとの結論に至りました。今後は一般の方や保護者を対象に説明会を

開催し、制度や建設計画について説明をし、理解を深めていただきます。

### 答え 町民福祉課長

「今後も子ども・子育て会議で相談しながら進めます」

子ども・子育て会議では、出席者全員の了解は得られませんでしたが、意見の最大公約数の中で、認定こども園を1カ所設置すると、定員350人程度、開園は平成30年をめざすことなどの了承が得られました。



川浦雅子議員

### 保育所保育の拡充について

「公的責任のもとで住民に寄り添った

保育や子育て支援を」

町では、現在ある2カ所の保育所と1カ所の幼稚園を統廃合し、1カ所の認定こども園をつくる計画があるようですが、大規模化により、一人ひとりの状況に合わせた保育をすることが難しくなると思います。学童期の先取りでない発達段階にふさわしい保育所保育について伺います。

子どもの貧困対策法第2条では、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、健やかに育成される環境の整備を行うとともに教育の



今年、4月より子ども・子育て新制度が開始され、保育、教育及びその他の子ども・子育て支援が総合的かつ効率的に提供されるように体制を確保することが、町の責務とされました。これに基づき、平成27年3月に神川町子ども・子育て支援事業計画を策定しました。今後引き続き保育の提供に当たっては、利用者のニーズを踏まえた保育サービスの充実を、国が定める保育指針等を順守しながら

「町の責任のもと、保護者が預けてよかったと思える認定こども園の計画を進めます」

答え 町長

機会均等を図るとされています。しかし、日本では家族の経済的余裕の有無で子どもが育つ環境が大きく左右されています。経済的に弱い立場の若い世代の保護者にとって、地域とのつながりのある公立保育所は必要と思われませんが、伺います。  
保育所は、児童福祉法第24条第1項により、町の保育責任について明文規定があります。一方、認定こども園は市町村の実施責任が曖昧な直接契約に基づく保育で、民間委託が可能です。民営化についての考えと丹荘保育所、青柳保育所の拡充(建て替え)について伺います。



神川幼稚園

進めます。  
保育所の役割は、子どもたちが保育所での生活を通して基本的な生活習慣や生活態度を身に付けるほか、集団生活の中で自主性や協調性を養い、道徳心を培うことなどです。また、保護者にとっても

保育所に子どもを預けることにより働きやすい環境が創出され、安心して子どもを産み育てることが

できます。  
認定こども園の民営化については、今のところ考えていません。

通学路、登下校時の安全対策について

「除草対策及び街灯設置、不審者情報の迅速な周知について」

空き地や空き家の雑草の放置や道路にはみ出た樹木等が多く見受けられます。子ども達の通学の安全のため道路幅や歩道幅を確保する必要があると思いますが、対応について伺います。町として街灯のない危険箇所のチェックを各行政区と協力しできる体制づくりを行い、街灯を増やし、部活動等で日没後に下校する子ども達の安全を確保していただきたい。先月の不審者情報の対応は、学校が保護者とメールで連絡をとり、地域の下校見守りボランティアにも連絡をしたとお聞きしました。地域の目で子ども達を守るには、もっと早く住民に知らせる必要があると思いますが伺います。

答え 町長

「子ども達の安全のため、除草や街灯設置、不審者情報の迅速な周知等に努めます」

認定道路の除草は、年3回シ

バー人材センターと委託契約を結び実施しているほか、職員の定期パトロールや学校、町民からの情報提供などによりその都度、対応しています。3級町道は、各区長や利用者に管理をお願いします。町は支援、協力を行っています。また、高齢化等で利用者管理が難しい場合には、安全性や緊急性の観点に

より、個々の状況に応じ対応しています。

防犯灯設置は、毎年、各行政区長へ設置要望調査を依頼し、地権者や関係者と調整をしていただいた上で、要望書等を提出していただいております。

現在の不審者情報の流れは、まず被害にあわれた方が家族等と相談をし、警察に連絡が行き、その後、各小中学校へ情報が送られ、各中学校から保護者へメール等で情報が伝達される仕組み



防災行政無線

みとなっており、時間的ロスタイムはあります。今後は、それが改善されれば、防災行政無線等を使い即時の放送を行います。



赤羽 奈保子 議員

## 地方創生戦略の推進について

「総合戦略の策定体制及び移住推進策、

子育て支援策、観光振興策について」

今日日本は、人口減少により消費市場の縮小や、人手不足による産業の衰退、持続可能社会の実現などの課題があり、国ではまち・ひと・しごと創生法により、各自治体に地方版総合戦略の策定を努力義務と

しました。これに基づき、町では策定体制をどのように確保し、また移住推進策及び定住のための神川町での結婚、出産、育児などの子育て支援策及び教育環境の整備をどのように進めるのか伺います。人口増加策として自然を生かした観光振興策及び神泉中学校校舎を利用した施策について伺います。

## 答え 町長

「前向きに取り組みます」

総合戦略の策定は課長級職員による総合戦略推進本部において出された案や審議会での議論を重ね、効果の期待できる事業を選択し、事業を推進します。移住推進策は、町民の皆様から出された具体的施策を元に策定します。出産については、今後人の流出を抑える新施策と出産を後押しする新施策を効果的に実施することが重要です。子育てや教育環境整備は、第3子給食費、保育料の無料化や中学校の整備など近隣市町と比べ誇れるもので、今行っている少子高齢化対策のPRに努めます。

観光振興策は、城峯公園のイルミネーションの拡大や冬桜観光プロモーション事業を計画しています。神泉中の跡地利用は町のア

セットマネジメント等で検討します。



城峯公園イルミネーション

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

## 議案審議の結果

6月定例会は、平成27年度神川町一般会計補正予算や平成27年度神川町介護保険特別会計補正予算及び神川町土砂のたい積の規制に関する条例などが審議され、全て可決されました。その他、請願は2件審議され、1件が採択、1件は継続審査となり、陳情は4件審議され、3件が採択、1件は不採択となりました。

## 条例関係

◎神川町土砂のたい積の規制に関する条例

無秩序な土砂のたい積を防止し、住民生活の安全確保と生活環境の保全を図るため、条例を制定するもの。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎児玉郡市広域市町村圏組合格約の変更について

児玉郡市広域市町村圏組合の事務所の位置の変更に伴い、組合格約を変更するもの。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

## 予算関係

◎平成27年度神川町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ5,324万5千円を追加し、総額を58億4,324万5千円とするもの。主な歳出は、役場議会棟法適合調査及び再耐震調査委託料648万円、屋上防水シート改修工事287万5千円、健康長寿埼玉モデル事業505万9千円、転落防止ネット工事531万5千円、地域おこし協力隊201万4千円、就業改善センター耐震補強工事請負費不足分3,262万7千円などです。

○歳入に追加された項目

国庫支出金 710万1千円

県支出金 1,029万8千円  
繰入金 404万6千円  
町債 3,180万円

○歳出に追加された項目

〈総務費〉 980万9千円  
〈民生費〉 ▲242万2千円  
〈衛生費〉 1,037万4千円  
〈商工費〉 201万4千円  
〈教育費〉 3,347万円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3,244万4千円を減額し、総額を9億5,601万6千円とするもので、減額の主な理由は介護報酬改定による介護給付費再計算によるものです。

○歳入に減額された項目

保険料 ▲810万1千円  
国庫支出金 ▲697万円  
支払基金交付金

▲870万8千円  
▲470万7千円  
▲395万8千円

○歳出に減額された項目

保険給付費 ▲3,110万円

基金積立金 ▲134万4千円  
〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

## 契約関係

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 神川町消防団第4分団消防ポンプ車購入  
契約方法 指名競争入札  
契約金額 2,103万5千690円

契約の相手方

住所 秩父市東町7番5号  
名称 埼玉消防機械株式会社  
代表者 代表取締役 赤岩 進

## 報告など

◎平成26年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額 6億5,435万4千円



# 請願

◎総務経済常任委員会

件名 農協改革など「農業改革」に関する請願  
 要旨 家族農業経営を育て、農地法改正や農業委員会の公選制などの廃止を止めるようお願い

請願者 埼玉県農民運動連合会  
 本庄・児玉センター  
 会長 反町辰夫

紹介議員 川浦雅子

〈審議結果〉継続審査

◎総務経済常任委員会

件名 TPP交渉に関する請願  
 要旨 TPP交渉に関する国会決議を順守し、守れない場合は交渉から撤退することの意見書を政府関係機関に提出するようお願い

件名 TPP交渉に関する請願

要旨 TPP交渉に関する国会決議を順守し、守れない場合は交渉から撤退することの意見書を政府関係機関に提出するようお願い

# 陳情

◎総務経済常任委員会

件名 新里地内町道の舗装整備について  
 要旨 県道鬼石本庄線の路肩と接する緑道町道4417号の路面が水平になるよう舗装工事をお願い

陳情者 新里区長 柴崎文隆

要旨 県道鬼石本庄線の路肩と接する緑道町道4417号の路面が水平になるよう舗装工事をお願い

◎総務経済常任委員会

件名 八日市地内町道の舗装及び側溝整備について  
 要旨 町道3688号の途切れた側溝の接続と再舗装をお願い

要旨 町道3688号の途切れた側溝の接続と再舗装をお願い

請願者 埼玉県農民運動連合会  
 本庄・児玉センター  
 会長 反町辰夫  
 紹介議員 川浦雅子  
 〈審議結果〉採択

陳情者 八日市区長 掛斐龍一  
 〈審議結果〉採択  
 ◎総務経済常任委員会  
 件名 新宿地内町道のU字溝排水設備について

要旨 現在、家庭雑排水を私有地経由で排水しているため道路にU字溝設置をお願い

陳情者 秋山武夫  
 〈審議結果〉採択



現場視察（陳情箇所）

◎総務経済常任委員会

件名 FMラジオ局に係る施設整備について

要旨 地域密着型の情報をコミュニティ放送により提供する施設整備をお願い  
 陳情者 萩原 隆  
 〈審議結果〉不採択

不採択の理由

設立当時の出資金や災害時の対応及び経営難に陥った場合の対応等について明確な答えがなく、全国的にもコミュニティ放送を実施している団体が経営難で苦しんでいるケースが多く、事業経営が危惧されるため。

## 第4回臨時会の あらまし

平成27年第4回臨時会は、7月8日（水）に開かれ、議員提案による農業委員会委員推薦の議案を審議しました。

議案審議の概要は次のとおり

## 意見書の提出

### TPP交渉に関する意見書

2010年に当時の民主党の菅首相によってTPP参加が打ち出され、2013年から交渉への参加が始まった。現段階は、安倍内閣のもとTPP交渉妥結に向けて日米両国の2国間交渉が進められている。

TPP交渉に当たっては、国会で米、麦、牛・豚肉、乳製品、甘味作物が重要品目とし関税交渉の対象にしない等8項目が決議されている。当地域は、埼玉県でも農業の盛んな地域であり、地元産業を守るためにも国会決議を順守するよう強く求める。  
以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成27年6月17日 埼玉県児玉郡神川町議会議長 小井戸英夫

衆議院議長 様  
農林水産大臣 様  
参議院議長 様  
内閣府特命大臣 様  
内閣総理大臣 様

です。

◎農業委員会委員の推薦について

(敬称略)

堀川 光宣 みつのり

神川町大字中新里84番地1

昭和25年7月16日生

長谷川 隆

神川町大字新宿1109番地5

昭和28年2月19日生

新井 師子 しのぶ

神川町大字下阿久原800番地

昭和29年8月1日生

福島千恵子

神川町大字八日市441番地

昭和29年4月21日生

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

## 第5回臨時会の あらまし

平成27年第5回臨時会は、7月31日(金)に開かれ、契約関係議案が提案されました。議案審議の概要は次のとおりです。

## 契約関係

◎契約の締結について

工事請負契約の締結について

契約の目的 神川町就業改善セ

ンター耐震補強及

び太陽光設備設置

工事

契約方法 一般競争入札

契約金額

77,220,000円

契約の相手方

住所地 本庄市小島6丁目

11番67号

氏名又は名称

横尾建設株式会社

代表者職氏名

代表取締役 横尾 巧

〈審議結果〉全員賛成 原案可決



## 広域消防本部新庁舎視察

去る6月2日(火)、本年4月より業務が開始された、児玉郡市広域消防本部・中央消防署(本庄市西富田904-3)を視察しました。新庁舎は敷地面積約15,800㎡、配備車両20台、配置人員90名で主に圏域における住民の生命、財産を守るため「防火・防災」、「救急・救命」の任務にあたります。



広域消防本部

## 明和町立明和こども園及び 明和町もったいない館を視察

去る7月15日(水)、群馬県明和町にある「明和こども園」及び「明和町もったいない館」を視察しました。明和こども園は平成19年4月より幼保連携型の認定こども園として群馬県第1号の認定を受けました。同こども園の前身は平成12年に3つの旧村単位であった保育所と幼稚園6カ所をほぼ中央の場所1カ所に集約し、保育所と幼稚園の合築園舎として建築されました。その後、国の「認定こども園」の制度が法制化され現在に至っています。保護者同士また保育教諭との連携は抜群で、恵まれた環境の元、子ども達は伸び伸びと園生活を楽しんでいました。

「明和町もったいない館」はゴミの減量化や利用できる資源は徹底的に分別収集を行い、再利用を図り、資源の有効活用率日本一を目指しています。運営主体はNPO団体が中心で、行政、業者と連携の元、現在は38種類の分別収集を行っています。



明和こども園



## 児玉郡町議会議員前期研修会開かれる

去る7月3日に、神川町役場会議室を会場に神川町及び美里町、上里町から約50名の議員、来賓が集まり、児玉郡町議会議長会主催による研修会が開催されました。講演会では



前期研修会

「人口減少社会における町村議会のあり方」と題し、新潟県立大学准教授の田口一博氏から講演がありました。講演では地方創生の深化とは、稼ぐ力・地域の総合力・民の知見を引き出すことであるとし、最初に取り組むべきことは現状認識と問題把握で、共通認識の元、徹底的に議論をすることが重要であると力説されました。

### 議会日誌

#### 4月



- 1日 全員協議会 教職員人事異動 辞令交付式
- 3日 かなな福祉専門学校入学式
- 6日 丹荘・青柳保育所入園式
- 8日 神泉小・渡瀬小・青柳小・丹荘小・神川中入学式
- 9日 神川幼稚園入園式
- 15日 人権擁護委員児玉部会総会
- 16日 区長会
- 22日 食生活改善推進員協議会総会
- 24日 本庄法人会神川支部事業報告会
- 27日 母子愛育会総会
- 28日 更生保護女性会総会
- 30日 臨時会・全員協議会

#### 5月



- 11日 郡議会議長会総会
- 12日 新任議員研修会
- 春の交通安全キャンペーン

#### 6月



- 2日 全員協議会
- 9日 消防本部視察
- 11日 第3回定例議会（一般質問）
- 12日 文教厚生常任委員会
- 17日 総務経済常任委員会
- 19日 第3回定例議会（補正予算等質疑採決）
- 23日 旧議員倶楽部役員会
- 24日 新任議員研修
- 25日 神流湖整備協合理事会
- 29日 埼玉ひびきの農協総代会
- 広域圏議会
- 国道462号線整備促進期成同盟会幹事会
- 16日 文化協会総会
- 18日 消防本部落成式
- 19日 遺族会総会
- 18日 全員協議会
- 20日 商工会女性部総会
- 21日 観光協会総会
- 21日 本庄地方防犯協会、暴力排除推進協議会総会
- 22日 商工会総会
- 23日 新任議員研修会
- 26日 上武中学校野球大会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 社会福祉協議会理事会
- 29日 梨出荷組合総会
- 身障福祉会総会